

問1 イスラム教の教義が、当時の社会において受け入れられた背景やその仕組みについて説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 沖縄公立入試 類似）

1. 唯一神への絶対的な帰依とともに、神の前での平等や信者間の相互扶助を説いたことが、部族を超えた人々の結びつきを強めた。
2. 各地の伝統的な神々をすべて認める多神教的な立場をとったため、商売繁盛を願う商人層から広く支持された。
3. 生まれながらの厳格な身分制度を肯定し、それぞれの階級に応じた義務を果たすことが救済への唯一の道であると説いた。
4. 特定の聖典を持たず、文字の読めない人々でも日々の生活習慣だけで救われるという簡便な教理を特徴とした。

問2 ナイル川の流域で栄えた古代エジプト文明では、農耕に大きな影響を与える川のはんらん時期を正確に知る必要がありました。そのために天文学が発達しましたが、その結果として作られ、現代の暦の基礎ともなったものはどれですか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

1. 太陽の動きを基準とし、1年を365日とする太陽暦
2. 月の満ち欠けを基準とし、約29.5日を1か月とする太陰暦
3. 時間を60秒、60分で区切るなど、数え方の基礎となった60進法
4. 農作業の記録をつけるために考案された、粘土板に刻む楔形文字

問3 7世紀の世界のできごとを記した年表において、ムハンマドという人物がアラビア半島でおこしたとされる宗教について、その教義と聖典の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2019年 沖縄公立入試 類似）

1. 唯一神アッラーを信仰し、信者同士の助け合いなどの正しい行いを説き、『コーラン』を聖典とする。
2. 救世主としてのイエスを信じ、隣人愛を説き、『新約聖書』を聖典とする。
3. 悟りを開くことで苦しみから解放されると説き、多くの『経典』を聖典とする。
4. 万物に神が宿ると考え、自然を崇拜し、特定の聖典を持たない。

問4 円形闘技場（コロッセウム）に代表される大規模な石造建築物が造られた古代ローマ帝国では、キリスト教に対する扱いが時代とともに大きく変化しました。その経緯を説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 島根公立入試 類似）

1. 当初は厳しい迫害を行っていたが、のちに公認され、最終的に国教となった
2. 建国当初からキリスト教を保護し、シルクロードを通じて東アジアへ広めた
3. ギリシャの民主政治の影響を受け、建国時から一貫してキリスト教を国教としていた
4. 高度な天文学や数字の知識を持つキリスト教徒を優遇し、建国初期から公認していた

問5 紀元前16世紀ごろ、中国の黄河流域におこった古代国家において、神への問いかげや占いの結果を記録するために、亀の甲羅や牛の骨に刻んで使われていた文字を何と言いますか。（2019年 千葉県公立入試 類似）

1. 甲骨文字
2. 象形文字
3. 楔形文字
4. インダス文字

問6 ムハンマドによって開かれたイスラム教の特色や、その後の広がり背景について述べた文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。（2024年 愛知公立入試 類似）

1. 唯一神アッラーの前では全ての信者が平等であると説き、偶像崇拜を厳しく禁止した。
2. ルイ14世のような絶対王政を支える理論として、ヨーロッパ全域に急速に普及した。
3. スエズ運河を拠点とした海洋貿易の発展により、東南アジアから日本まで直接伝播した。
4. 多神教の立場をとり、地域の伝統的な神々の像を寺院に安置することを推奨した。

問7 紀元前2500年ごろ、インド亜大陸北西部のインダス川流域に成立した古代文明について、モヘンジョ・ダロやハラッパなどの遺跡に見られる都市の大きな特徴として最も適切なものはどれですか。（2018年 東京都公立入試 類似）

1. 下水道や公衆浴場などが整備された、高度な計画都市が建設された
2. 国王の権威を示すために、巨大な石造りのピラミッドや神殿が建設された
3. ジググラトと呼ばれる聖塔を中心とした、複数の都市国家が形成された
4. 青銅器とともに甲骨文字が用いられ、大規模なかんがい農業が行われた

問8 インド北西部の遺跡から、建物や水路が計画的に配置された都市の跡が発見されている文明について、その文化的な特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。（2024年 滋賀公立入試 類似）

1. 象牙や石で作られた印章に文字が刻まれているが、現在も解読されていない。
2. ナイル川の氾濫を予測するために太陽暦が作られ、象形文字が使用された。
3. くさび形文字を粘土板に刻み、太陰暦や六十進法が考案された。
4. 亀の甲羅や動物の骨に、漢字の原型となる甲骨文字が刻まれた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 唯一神への絶対的な帰依とともに、神の前での平等や信者間の相互扶助を説いたことが、部族を超えた人々の結びつきを強めた。	イスラム教は、神の前での平等を説き、富の再分配としての喜捨（寄付）や相互扶助を重んじました。この教理が、それまでの血縁や部族単位の対立を乗り越え、イスラム共同体（ウンマ）という新しい社会的な繋がりを形成する大きな要因となりました。
問2	答え 1 太陽の動きを基準とし、1年を365日とする太陽暦	エジプト文明は「ナイルのたまもの」と呼ばれるほど、川のはんらんがもたらす肥沃な土壌に依存していました。はんらんの周期を予測することは、農作業の計画を立てる上で国家の死活問題であったため、天文学が高度に発達し、太陽に基づいた暦が誕生しました。なお、太陰暦や60進法、楔形文字はメソポタミア文明の主要な特徴です。
問3	答え 1 唯一神アッラーを信仰し、信者同士の助け合いなどの正しい行いを説き、『コーラン』を聖典とする。	イスラム教は7世紀にムハンマドによって創始されました。唯一神アッラーを信じる一神教であり、その教えは聖典『コーラン』にまとめられています。教義の中では、信仰だけでなく、信者同士の連帯や助け合いといった社会的な実践（善行）も強く推奨されているのが特徴です。
問4	答え 1 当初は厳しい迫害を行っていたが、のちに公認され、最終的に国教となった	ローマ帝国は初期において、多神教の立場から皇帝崇拜を拒むキリスト教を「国家に反するもの」として処刑などの迫害を行いました。しかし、4世紀初めにコンスタンティヌス帝が信仰を認め（公認）、その後、帝国の分裂を防ぎ統治の正当性を支える基盤とするために、4世紀末には唯一の公式な宗教（国教）として定められました。シルクロードや民主政治などは、ローマ帝国のキリスト教政策とは異なる背景を持つ用語です。
問5	答え 1 甲骨文字	古代中国の殷では、政治の重要な決定を占いに頼っており、その内容を記録した文字が現在の漢字の原型となりました。エジプトの象形文字、メソポタミアの楔形文字、インダス文明のインダス文字など、他の古代文明で使われていた文字との違いを区別しておく必要があります。
問6	答え 1 唯一神アッラーの前では全ての信者が平等であると説き、偶像崇拜を厳しく禁止した。	イスラム教は、神の前での平等を説いたため、身分や部族の対立を超えて多くの人々に受け入れられました。また、目に見える形を持つものを神として崇拜することを「偶像崇拜」として厳しく禁止しているのが、仏教や当時のキリスト教などと比較した際の大きな特徴です。
問7	答え 1 下水道や公衆浴場などが整備された、高度な計画都市が建設された	インダス文明の代表的な遺跡であるモヘンジョ・ダロやハラッパは、焼成レンガを用いた整然とした街並みが大きな特徴です。特に、網の目のように張り巡らされた排水用の下水道や、共同で利用されたと考えられる大規模な公衆浴場などは、当時の技術水準が極めて高く、都市が極めて計画的に設計されていたことを物語っています。
問8	答え 1 象牙や石で作られた印章に文字が刻まれているが、現在も解読されていない。	インダス文明では、独自のインダス文字が使用されていましたが、他の文明の文字との比較研究が進んでいないため、未だに解読されていません。選択肢にある他の特徴は、エジプト、メソポタミア、中国の各文明のものであります。